

特集

街、NOW

私たちが住む街は大きな変化はなくても、日々少しずつ動いています。今回はそんな街の動きを追ってみました。

買い物に困っている人の救世主 清瀬市の「買い物キャロット便」



このバイクが街を颯爽と走ります

にんじん (キャロット) は清瀬市が東京都でダントツ1位の生産量を誇る農産物。にんじんジャム、にんじん焼酎など

清瀬市では、総人口約7万4千人のうち65歳以上が占める割合が25.1% (10/1現在) と多摩地区26市の中で最も高く、高齢者だけの世帯も総世帯の19%に達しているという。そのため日頃、買い物に行くことが困難な状況にある人も多いことから、清瀬商工会では市の補助を受け、10月1日から買い物を代行する「買い物キャロット便」事業をスタートさせました。

の特産品がつけられ、地域資源で街を活性化する「清瀬キャロットプロジェクト」が展開中。このキャロットにちなんで名付けられた買い物代行のバイク便が「買い物キャロット便」です。

買い物利用者は事前登録制で、対象となるのは・清瀬市内在住の65歳以上の人・障害者、又はその家族・商工会長が認めた妊娠中あるいは子育て中の人。取扱店は呼びかけにより登録した清瀬市内の店です。10月末現在、青果、精肉、鮮魚の店、パン、菓子店、酒店、薬局、クリーニング店など44店が登録。この中には総合スーパー(米、水の販売のみ)とコンビニも1店ずつ含まれています。

利用者はまず商工会から配布された、取扱商品、値段などが記入された登録店ファイルの中から、その日必要な買い物を店に電話かファクスで注文。商店側は受けた注文品と合計金額を記入した受注表をファクスで商工会へ送る。そしてシルバー人材センターから派遣された配達員が、ピザ屋と同様のバイクで、各商店を回り、受注品を預かります。その後注文した利用者宅へ届け、代金と手数料200円を受領。そしてまた、代金を各商店へ届け、手数料は商工会へ渡す…というシステム。午後1

時までに連絡すれば、その日の5時までに配達してくれます(土・日・祝日・年末年始は休み)。

今はスーパーでも宅配する時代ですが、何千円以上限定の買い物だったり、インターネットが使えなければ注文できないことも多い。その点、キャロット便は昔ながらの電話やファクスで、例えばひとつの店で油揚げと豆腐、また別の店で刺身と、複数の店への注文でも手数料200円のみ。値段に関係なく配達してくれるので、弱者に優しい仕組みです。近所づきあいも希薄になり、一人暮らしも加速する現在、足腰が弱って、タクシーで買い物に行く人、ヘルパーに有料で頼む人など、日常の買い物に不自由する人たちが今後、ますます増えると思われる。

「以前は配達できたけれど、今は人手がなくてできない」という個人商店にとっても、ありがたいシステム。個人商店の良さが見直され、商店活性化の一助ともなるでしょう。

「まだ、この制度を知らない市民も多いせいか、利用者が少ないので、ぜひ浸透させたい」と商工会で担当する藤井さん。キャロット便が今後、街と人をつなぐ幸せ便になるようお願いしたいものです。

(問) 042(491)6648

一人の建築家の情熱が 古民家を甦らせ、 「デイサービス」 交流の場に

◆和のいえ櫻井イベント情報◆

「日本の彩り」

1月20日(日) 14時〜18時(料)

3千円(要予約) 和楽器、パークッション

☎070(6652)4979(18時以降)

西東京市新町5-3-5

☎050(1585)5863



風情漂う外観

五日市街道沿い、境橋近くのドンキホーテ裏手に「和のいえ櫻井」があります。今を象徴するディスカウントスーパーから、一挙に昭和に引き戻されたかのような空気が漂い、どっしりとした古民家の佇まいに目を奪われます。

屋敷林に囲まれた550坪の敷地には築150年にもなる母屋と蔵、広い前庭があります。ここは7年前までは、荒れ放題のごみ屋敷でした。住人が亡くなり、5年間空き家になっていたからです。この民家を借り上げ、現在の状態に再生させたのが建築設計事務所(株)山田屋の山田哲矢さん(41歳)。文化財建造物の実測調査や保存修理、古建築の改修設計に携わっている一級建築士です。自然素材を用いた日本建築の素晴らしさ、その伝統技術を継承し、現代に活かす建築を目指しています。新たに依頼され設計する場合も、釘は1本も使わない木造建築のみだとか。

ごみの撤去から始まった「和のいえ櫻井」の開設には準備に1年半か

かりました。でもなぜ山田さんは古民家をデイサービスとして活用したいと思ったのでしょうか。



「熱意があれば通じる」という山田哲矢さん

「古民家を継承していくためには、内部もなるべく変えないように遺したい。レストランなどになると、中を大幅にリフォームし、もしそこが10年、20年で潰れたら継承できなくなります。古き良き日本の暮らしをデフォルメしたものをやりたい。お年寄りに普通に暮らすように過ごしてほしい。スタッフだけとの関わりではなく、そこに子どもたちがいて一緒に遊んだり、さまざまな人が集まるコミュニティの場をつくりたいと思ったのです」

実際、改修したのは風呂まわりと、台所、それに耐震のみ。天井の太い梁、ガラス戸も障子も当時のまま。バリアフリーのリフォームもなし。これは「段差があってもがんばって」とスタッフが目配り、気配り

して、過保護な介護はしないという方針からです。これまで事故は1回もありません」という山田さん。

昼食にしてもできる人は手伝い、味噌作りもデイサービス利用者がやっています。現在70代から98歳まで18人の方が通っていますが、みなさんがかつて暮らしたような家のせいか、抵抗感なく居心地いい様子です。庭の花々や畑は地域のボランティアが手入れしています。

昨年8月には貸ギャラリーの蔵の横に立つ、大ケヤキに寄り添うように、子どもたちとその親とで創ったツリーハウスが完成。伝統技法の職人を先生として、一年以上かけ、土やわら、竹などの自然素材を用いて、中の障子に貼る和紙も子どもたちが



ツリーハウス「友引緑市」の時、この中で小学生による落語会が開かれている。

手漉きしたという本格的日本建築。

週末にはさまざまなイベントが行われ、中でも「友引緑市」は古民家の内外を使った食や雑貨、ワークショップの楽しい催し。文字通り地

地域活性化
イベントが
小平で開催！
人との出会い、
小平のお店を
楽しもう！

2013 **2.8** (金)
18:30~21:30 受付18:00

小平で街コン！
Machicon in KODAIRA

だいらコン2013
@一橋学園

TEL: 042-344-2311 E-mail: ks@kodaira.or.jp
www.kodaira-seimen.jp

だいらコン2013

- 2月8日(金) 18時30分～21時30分(受付18時)
- 参加資格 20歳以上の独身者
- 参加費 男性6千円 女性4千円(飲食代込み)
- 募集期間 12月20日～1月20日(間) 042(344)2311
小平商工会(担当・村上)
E-mail ks@kodaira.or.jp

域の縁をつないでいます。開設して6年目、今では山田さんが驚くほど、この場所に愛着を持つ、多彩な人々が集い、中には古民家で結婚式を挙

小平初の街コン その名も「だいらコン2013」 2/8(金)開催 参加者募集中!

小平商工会青年部の事業として、小平で初めての街コンが一橋学園駅周辺で、2月8日に開催されます。小平商工会青年部は商工会会員で、40歳までの青年経営者からなる部会で、地域活性化のための事業に取り組んでいます。

街コンは街ぐるみで行われる大型の合コンイベントとのことで、2004年宇都宮市で開催された「宮

げた若者もいます。ふれあいの場づくりとして、まだ無限の可能性がありそうです。たった一人のパワーが地域を変えていくのですね。

コン」開催以来全国に広がり、地方都市だけではなく、都心でも盛んに行われています。『出会いの創出の場』と『地域活性化』を融合させたイベントとして注目されています。

さて、こだいらで開く婚活として「だいらコン」とネーミングされたこのイベントは小平で初めて開催する街コン。企画した青年部の役員のみならずは役割を分担し、その準備に

青年部の活動

産業まつり4日前の夜、商工会玄関でわたあめ作りの特訓中



産業まつり(11/10・11)でわたあめ、ヨーヨーつりを出品。街コンをPR

追われています。一橋学園駅周辺の飲食店を巡り、街コン参加店を募り、居酒屋やショッパバーなど8店ほどが参加予定です。何よりも開催趣旨に賛同し、理解してもらうことが必要と、周辺5つの商店会長に挨拶に出向き、各商店に当日のマップへの協賛を依頼に回っています。当日参加者に配るリストバンド(参加証)の手配やポスター、チラシの制作など、初めての街コンに、みなさんが手探りの知恵と労力を出し合っています。



真剣な表情で会議中(11/6商工会で)

勤とは限らない。受付を済ませた参加者は各々が決められた店、3店舗を巡り、出会いのチャンスが3回持てることとなります。飲食は店側で予め用意されたメニューに限られます。もちろん参加者は相手に不快感を与えないよう、マナーを守ることが大切で、禁止事項も掲げられています。

青年部スタッフは店への誘導をしたり、巡回したり、蔭のサポート役。参加店の協力体制も欠かせません。若者が大勢来訪することは、通りを賑やかにします。一橋学園での出会いが、もしかして将来を決めるかも？しれませんね。

「人との出会い、小平のグルメを楽しむのでいただきたい。1回目を起爆剤にして、今後も街コンで活性化をしていきたいですね」と青年部部長の安齋圭太郎さん。共に活動する青年部会員も募っています。

当日の参加者は60人から80人(男女半々)を予定。小平在住、在

柳久保小麦を使った地域ブランドをつくらう

「東久留米市民つながり隊」募集中

東久留米市内3つの市民活動団体、大学、企業、行政が連携して、今年1月に設立された「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」（桑原芳夫会長）。東久留米をさらに住みよく魅力あるまちにするために、市民同士がつながり、話し合い、行動していくことが目的です。そのために「市民つながり隊」が結成され、現在90名が登録。「東久留米が好き」であればいつでも入れる協働の場です。



柳久保小麦の小麦のラーメン(つけ麺)を試作中

協議会は4つの部会（地域ブランド開発・情報システム・市民への地域活動意識調査・参加の仕組み・組織作り）に分かれ、今年度の取り組みは「東久留米の特産品を活かした地域ブランド開発事業」。東久留米発

の全国区ブランドを、と「食」チームが特産の柳久保小麦を使用したラーメン（つけ麺）を開発しました。香りが強いと言われる柳久保小麦、試食した人によると、「これまでになくおいしくて、新しい麺のような感じですよ」とのこと。2月17日に東久留米で開催される「たまろくと ご当地グルメフェスティバル」で一般にお披露目とともにネーミング発表予定。

食チームの活動だけではなく、東久留米の名所・川を巡るコースを検討する観光チームや、「コミュニティカフェ・プロジェクト、情報システムづくりなど多彩な活動を展開中。12月1日と2日に開かれる「暮らしフェスタくるめ」ではクイズラリーやマルシェなどを出展します。今年度は東京都の新しい公共の場づくりのためのモデル事業の助成金を受けていますが、今後の動きに注目です。

協議会事務局 東久留米市役所7階
月曜～金曜 9時～16時
0800(4836)4411
<http://www.higashikurume-tsunagari.com/>

益々盛況の

東村山手づくり小物雑貨市

ものづくりの起業支援のために始まった、市民グループ、東村山懇話会は「東村山手づくり小物雑貨市」を12月1日と2日に開催。出店数は1日に44店、2日間で1800人以上の集客。出店希望も多く、今回はキャンセル待ちの状況です。

手づくりの洋服、編み物、染めもの、パッチワーク、アクセサリ、木



■12月1日(土)2日(日)
10時～17時
■東村山駅西口サンパルネ
2階コンベンションホール他
☎042(391)1040
金子(平日9時～16時)

工品などリーズナブルな価格が人気です。前回同様、被災地支援として、大船渡市の仮設住宅の人たちが作った、小物、雑貨を販売。売上金は全額寄付します。10回目は来年5月予定、記念イベントも企画中です。

子どもたちのピオトープ造りのために

「ビールケース」を寄付してください



東久留米市の下里と滝山に保育園がある、社会福祉法人しおん保育園は「食事」と「遊び」を保育の柱として乳幼児保育40年余り。森の保育を行ってきましたが、この春、同園から約16キロにある立教大学馬術部跡地約1800坪を譲り受けました。

ここに森を造るには、まず多様な生き物を育てる水辺、ピオトープが必要と、手づくりのピオトープ造りが始まっています。その第一歩である水の確保には、ビールケースを利用

することで可能とか。最終的にはビールケース1000個を予定。まず貯

水槽をつくるために200個（最終的に千個）が必要ですが、現在集まったのは約100個。同園では不要のビールケースを寄付して下さる会社や店、個人を探しています。設計も造園関係の園児の父親、親や保育園関係者、ボランティアが一体となって、子どもの成長のための豊かな自然環境づくりに、がんばっています。ボランティアも募集中。

◆ビールケース(大ビン20本入り)の
送付先・連絡先 下里しおん保育園
☎042(474)2910
東久留米市下里7-8-20